

9月の終わりにまだ麦わら帽子を被っていましたが、風が少し冷たく感じてようやく秋が来たことに気付きました。台風にも重なって秋雨と天候不良が続ぎ、暑い日々が突然終わって急に秋が深まったように感じています。コロナ禍ではありますが、秋の美味しいものを楽しんで参りましょう。

成長し続けること

機械やシステムとは異なる組織の経営を、方法論として学問的に捉えては危険です。組織は千差万別十人十色な個人から成るのであり、個人の集合としての人格を持ちうるのが会社です。それを社風や文化と呼び、日々育てていることと思います。そんな集合の人格を率いる経営トップには、人の上に立つ人間として、また、集合の人格の象徴に

相応しい人格や風格が求められます。この小欄を御覧になっている経営者の皆様は、これまでたゆまぬ努力と自己啓発があり、人の上に立つべくして立っていることと思います。経営者にとって、個人と組織双方の人格を磨き続けることは大切な仕事です。当社は夫婦二人で運営する小さな会社であり、少し気を抜けば仕事も暮らしもどこまでも

墮落する恐れを含んでいます。それを回避する為に仕事も暮らしも日々修行と認識し、たゆまぬ努力を続けております。侍業や野良仕事もその一環。時間を作る努力、諦めない努力、実現させる努力を続け、行動することにより自身への信頼を確かなものとしています。個人と組織の人格磨きに皆さんはどんなことに取り組んでおられますでしょうか。（太）

新宿稽古会を再開します

新型コロナウイルス感染拡大防止の目的で中止していた斬法総合研究所（以下、斬総研）の新宿稽古会を、いよいよ10月1日（木）から再開します。新宿稽古会は、高田馬場にある都立戸山公園内新宿スポーツセンター第2武道場を会場として毎週木曜の14時から16時に開催します。この稽古会は入会がなく一回稽古制です。貸出用の道具類もごございますので動きやすい服装で来ていただければ初心者の方でも気が向いた時に1回から気軽にご参加いただけます。会員のような常連の方もおられますが、特に決まったカリキュラムや昇級昇段制度もありません。斬総研の過去から現在の術理稽古を通じて、武士の礼儀作法や身体遣いから日常生活や仕事に活かせる実学を学び、人間性の向上を目指しています。剣の稽古を通じて仕事や生活をより良くすることに興味がある方は、是非ご参加ください。稽古会再開のチラシを同封しますのでご参照の上、ご予約ください。（太）

ようこそ太仁亭へ！

昨秋、一号畑の隣で耕している大先輩から「唐辛子を終わりにするから好きなだけ収穫していいよ」と言われ、青唐辛子を沢山頂いて来ました。辛いものが大好きなサムライ社長は大喜びです。早速、三升漬を仕込みました。毎日納豆の味付けに使い、サムライ社長は来夏は自分達でも育てたいと言っていました。お豆ちゃんが辛いものは食べられないので少々渋りつつ、今夏

一株だけ植え付け。三升漬の他に何か…と考えあぐねた結果、某レシピサイトで見つけたハラペーニョソースを作ることに。材料は青唐辛子と塩麴と酢のみ。こんなにシンプルなレシピだったのかと驚きました。材料を揃えてジュースに掛けて出来上がり。保存料を使っていないので、色は悪くなりますが、食欲の落ちた夏にぴったりの調味料となりました。（仁）

武士道を仕事に活かす-6 「武士道の徳目-誠」

義・勇・仁・礼・誠・名誉・忠義という武士道の7つの徳目の内、今回は4番目の礼についてお話ししました。今回は、5番目の誠について。「武士に二言なし」という言葉がある通り誠とは武士にとって命より重い言葉です。誠を尽くすには覚悟を持って誠実に物事を行う必要があり、武士の一言は真実であることから、武士同士の約束事には証文を用いず、証文を求めると自体が不名誉なことでありマナー違反とされてきました。つまり、武士とは嘘をつかない、正直であることの象徴でもありました。現代においても大切にさ

れている近江商人の教えに三方良しがあります。近江商人は堅実・勤勉・質素倹約・信用第一を基本とする一方で、無償で橋をかけたり学校を建てたりと、利益の社会還元を進んで行いました。いま巷には多くの詐欺まがいのビジネスが溢れていますが、人を欺いて手にした利には必ず報復があります。近道などありません。耐えるときは耐え、進む時は王道、正道のど真ん中を正々堂々と誠実に歩む。このコロナ禍に業績好調な企業を見るにつけ、正直さこそが利益を保証するのだと改めて感じています。（太）

今月のお豆ちゃん

お豆ちゃんは、ブランコが大好きです。2つブランコが空いていると、「一緒に乗ろう」と私を誘ってくれます。高く漕ぐと空がグンと近付きます。「雲がきれいだね」「お魚に見えるね」お豆ちゃんはそんなことを言いながら漕ぎます。少しずつ雲が流れて、違う形になります。「今度は鳥になった」「お父さんが好きな鳥(ワシ)だね」。5歳になって、一緒にブランコを楽しめるようになって、こんなに幸せな時間があることを初めて知りました。（仁）



雲

台風10号が九州エリアに向かっていった頃、黒い雨雲と白い入道雲が入り混じる空を頻繁に見ることができました。黒い雨雲の隙間から見える青い空と白い雲が、まだ夏はここにあると云わんばかりに眩しく主張します。そして次の瞬間には土砂降りの雨。常に形を変えながら流れていく雲が、空の景色を見事に変える様子に思わず見入ってしまいました。（仁）

編集者：後藤紅仁子

kuniko-goto@ccore.co.jp

発行日：2020.9.28 秋分（しゅうぶん）

費虫培戸（むしかくれてとをふさぐ）

発行所：株式会社コンセプト・コア

☎192-0373

八王子市上柚木 2-63-10

TEL/FAX 042-697-7473

https://ccore.co.jp/

過去号：ウェブサイト↑からご覧頂けます。